

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)  
スマートモビリティプラットフォームの構築 推進委員会 (第2回) 議事要旨

1 日時：令和6年2月7日(水)～2月9日(金)

2 場所：書面開催

3 出席者

【PD(委員長)】

石田 東生 国立大学法人筑波大学 名誉教授

【サブPD】

越塚 登 国立大学法人東京大学大学院 情報学環 教授

中村 文彦 国立大学法人東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任教授

樋山 智 日本自動車工業会次世代モビリティ委員会  
コネクティッド部会道路交通分科会 分科会長

村瀬 茂高 WILLER 株式会社 代表取締役

高原 勇 国立大学法人筑波大学 特命教授 (株)サイバーダイイン技術顧問

【関係省庁】

麻山 健太郎 デジタル庁 国民向けサービスグループ 参事官

池内 久晃 警察庁 長官官房参事官(高度道路交通政策担当)

増子 喬紀 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課  
新世代移動通信システム推進室長

伊藤 建 経済産業省 製造産業局自動車課 モビリティDX室長

渡辺 信彦 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 室長

土田 宏道 国土交通省 総合政策局モビリティサービス推進課 課長

甲斐 一洋 国土交通省 都市局都市政策課 デジタル情報活用推進室長

柴田 芳雄 国土交通省 道路局環境安全・防災課 道路計画調整官

四童子 隆 国土交通省 道路局企画課 道路経済調査室長

多田 善隆 国土交通省 自動車局技術・環境政策課 自動運転戦略室長

【研究推進法人】

今田 俊也 新エネルギー・産業技術総合開発機構 特命審議役

【内閣府】

川上 大輔 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官

《SIP総括》

梅原 徹也 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官

## 《事務局》

|       |     |                   |         |
|-------|-----|-------------------|---------|
| 木村 裕明 | 内閣府 | 科学技術・イノベーション推進事務局 | 参事官     |
| 大竹 政彰 | 内閣府 | 科学技術・イノベーション推進事務局 | 上席政策調査員 |
| 金子 太朗 | 内閣府 | 科学技術・イノベーション推進事務局 | 政策調査員   |
| 小牧 真廣 | 内閣府 | 科学技術・イノベーション推進事務局 | 政策調査員   |
| 下川 賢人 | 内閣府 | 科学技術・イノベーション推進事務局 | 政策調査員   |

## オブザーバー

|       |       |                   |       |
|-------|-------|-------------------|-------|
| 和田 幸典 | 厚生労働省 | 老健局認知症施策・地域介護推進課  | 課長    |
| 閑念 磨聡 | 農林水産省 | 農林水産技術会議事務局研究統括官室 | 研究調整官 |

## 4 議題

(1) 「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」の変更について

## 5 配布資料

|        |   |         |
|--------|---|---------|
| 資料 1   | SIP 第 3 期「スマートモビリティプラットフォームの構築」<br>社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について                | 【非公開資料】 |
| 資料 2-1 | 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) スマートモビリティプラットフォームの構築社会実装に向けた戦略及び研究開発 (案)            | 【非公開資料】 |
| 資料 2-2 | 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) スマートモビリティプラットフォームの構築社会実装に向けた戦略及び研究開発 (案)<br>(見え消し版) | 【非公開資料】 |
| 参考資料 1 | 戦略的イノベーション創造プログラム運用指針   | 【公開資料】  |
| 参考資料 2 | 令和 5 年度戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の実施方針  | 【公開資料】  |
| 参考資料 3 | SIP 第 3 期「スマートモビリティプラットフォームの構築」推進委員会<br>の設置について                             | 【公開資料】  |

## 6 議事要旨

議題(1)について、資料 1、資料 2-1 及び資料 2-2 に基づき、令和 5 年度 SIP 第 3 期追加予算配分を踏まえた「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」の改定案について書面での審議が行われ、一部誤記訂正の指摘を反映し、推進委員会として了承した。